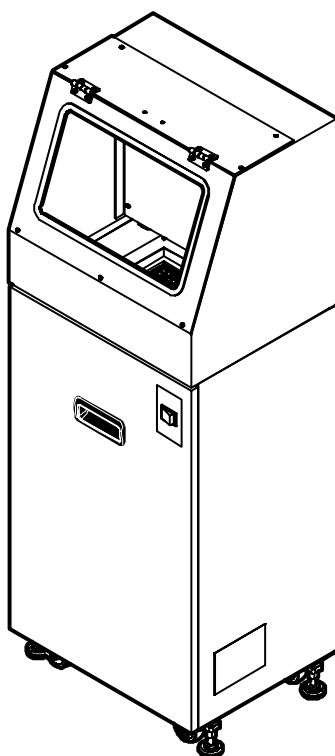


取扱説明書

イオンパーツクリーナー・ドライジェット

I P C - D J 4 0



このたびは、イオンパーツクリーナー・ドライジェット I P C - D J 4 0 を
お買い求め頂き、誠にありがとうございました。



注意

ご使用前に、この取扱説明書を良くお読み頂き、
正しくお使いください。

ご使用の前に

禁止

本製品は、防爆構造ではありません。

溶剤・可燃性ガス等が存在する「危険場所」ではご使用になれません。

注意

- ・ 本製品を正しくお使い頂くために、必ずこの「取扱説明書」を良くお読みください。
間違った取り付け方法は思わぬ事故を招くことがあります。取り付け、メンテナンスなど（電気配線などを含む）は電気製品の取り扱いに習熟された方がおこなってください。
また、本説明書は常時簡便に参照できるように機械付近に保管してください。
- ・ 本製品は、ブロワーファン、モーターを含む電気製品です。また本製品は防爆、防塵構造ではありません。
 - ・ 本製品を酸・アルカリ・塩素ガス等の腐食性ガスのある場所に持ち込まないでください。
また、水・油・溶剤・微粉末、導電性液体の蒸気等が装置にかかりますと故障の原因となりますので、そのような場所では使用しないでください。
 - ・ 電源は交流100V専用コンセントへ接続してください。
 - ・ 定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントに単独で接続してください。
 - ・ 100V以外への接続は絶対におこなわないでください。
- ・ 本製品は、この「取扱説明書」に記載された方法で設置しご使用ください。
この取扱説明書の各項に記載の「注意」事項を厳守してください。
また、本書記載の仕様や使用条件の範囲を越えてご使用にならないようにしてください。
- ・ 本製品には、静電気除去装置が内蔵されていますので接地が必要です。
コンセントにアース端子がない場合第3種接地工事が必要です。
確実に接地（アース）をしてご使用ください。
- ・ 正常に動作しない時、あるいは点検時等に異常を発見した場合には、必ずご購入代理店もしくは弊社までご連絡ください。

＜本書の記号のご説明＞

各記号は主として下記のような意味を表しています。



注意をお守り頂かないと重大な事故（死亡事故を含む）を引き起こす恐れがあります。



注意をお守り頂かないと装置の故障を生じる恐れがあります。
また、周辺の機械・設備等に悪影響を与えることがあります。



注意をお守り頂かないと感電の恐れがあります。



なお、またはを記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ず記載事項をお守りください。

目 次

第1章 目 的	1 頁
第2章 概 要	1 頁
第3章 仕 様	2 頁
第4章 設 置	3 頁
4.1 本体の設置	3 頁
4.2 電源への接続	3 頁
4.3 赤外線センサーの感度調整	4 頁
第5章 運 転 方 法	5 頁
5.1 エアーブロー	5 頁
5.2 イオナイザー	5 頁
第6章 保 守 点 検	6 頁
6.1 日常点検	6 頁
6.2 定期点検	6 頁
6.3 プレフィルタの清掃及び交換	6 頁
6.4 中性能フィルタの交換	7 頁
6.5 ブロワーユニットの交換	8 頁
6.6 赤外線センサーの清掃	8 頁
6.7 イオナイザーバーの清掃	9 頁
6.8 ブロワーサーマルプロテクターについて	9 頁
6.9 トラブルシューティング	10 頁
資 料：外観図	巻 末
保 証 書	12 頁

第1章 目 的

本製品は、帯電物の静電気を除去し、表面に付着した塵埃を吹き飛ばし、捕集するために使用される集塵装置です。

第2章 概 要

本製品は、静電気により付着した塵埃や静電気を嫌う部品の除電・除塵に使用する装置です。イオン発生部とエアーブロー部、集塵部から構成されています。

イオン発生部：静電気除去に使用されるイオンの生成にはA Cコロナ放電方式を採用しています。高電圧電源から供給される交流の高電圧を放電針に印加することによってイオンを発生させています。

エアーブロー部：ブロワーから噴き出す大流量のエアーストリームは中性能フィルタを通過し、清浄エアーストリームとしてスリット状の幅広ノズルから勢いよく噴出します。その流れにイオンを載せて帯電物の除電および塵埃の吹き飛ばしをおこないます。

集塵部：塵埃はブロワーの吸引で不織布のプレフィルタと中性能フィルタで捕集されます。フィルタを通過したエアーストリームは循環利用されます。

第3章 仕 様

品 名：	イオンパーツクリーナー・ドライジェット
型 番：	IPC-DJ40
電 源：	単相 AC100V±5% (50/60Hz) 電源容量 15A 定格 1000W
外形寸法：	幅 398×奥行 317×高さ 1073mm
塗 装：	鋼板焼付塗装 日塗工 N-93 半艶消し
清浄方式：	高速気流循環式
風 速：	70m/s 以上
気流噴出温度：	約 50℃（設置環境により変動あり）
プレフィルタ：	不織布
メインフィルタ：	中性能フィルタ（効率 非色法 65%）
ブロワー：	単相 AC100V サーマルプロテクター内蔵
イオナイザー：	バー・SSB-200 1台、トランス・SBP-4S-2P-100V 1台
センサー：	赤外線センサー
電源スイッチ：	イオナイザーの入切用（主電源は内部のブレーカー）
オフタイマー：	2.5秒（固定）
電源ケーブル：	約 2m コンセントプラグは3ピン+アダプタ（アース線付2ピン）
使用環境温度：	5℃～35℃ 相対湿度 90%以下（結露なきこと）
重 量：	約 40kg
騒 音：	約 75dBA 以下
対象ワーク：	A 4ペーパーサイズ程度
適合規格	PSE（特定電気用品以外）
交換部品：	ブロワー（寿命1回10秒×20万回） 中性能フィルタ（使用環境による） プレフィルタ（使用環境による） イオナイザー（使用環境による）

第4章 設 置

4.1 本体の設置

- 本体にはキャスターが付いていますので、床面が水平な場所で作業性の良い位置に設置してください。
- 本体を所定の位置に設置後、アジャスターフットにて装置本体を固定してください。
- 設置の際には地震等による移動、転倒防止の対策をおこなってください。

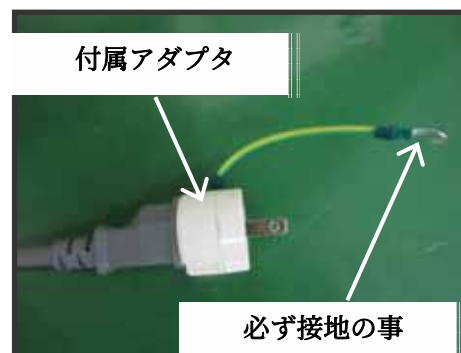


注意

- 水や油等が直接かかる場所や、酸、アルカリの雰囲気中、多湿の所などへの設置は避けてください、本機の故障及び損傷の原因になります。
- 本機は保守点検が容易にできる場所に設置してください。

4.2 電源への接続

- 電源仕様が間違いないか接続前に、必ず確認してください。
本機に供給する電源電圧はAC 100V 15Aです。
定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントに単独で接続してください。
- コンセントが3Pの場合はアダプタが不要です。コンセントが2Pの時は、付属のアダプタをお付けください。この場合、設置されているアース端子に付属アダプタのアース端子を必ず取付けてください。
- 静電気除去装置が内蔵されていますので、静電気除去の効果を発揮するため、接地（アース）を確実にこなってください。



注意

- 100V以外への接続は絶対におこなわないでください。
- 本機を確実に接地（アース）してください。接地が的確でない場合、感電・電撃の原因となります。また、接地が的確か定期的に点検してください。

4.3 赤外線センサーの感度調整



注意

- 赤外線センサーの感度調整は電気及び機械保守に習熟された方が実施してください。
- 赤外線センサーの感度調整をおこなう際は、定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントを外してください。
- 赤外線センサーの感度調整をおこなう際は、必ず本機のブレーカーをOFFにしてから作業をおこなってください。

- 1) 赤外線センサーの感度は、室内の照度により異なります。
調整の際は、まず、本体裏のパネルをプラスドライバーにて取り外してください。



- 2) 本機のブレーカーをOFFしてください。
- 3) 精密ドライバーにより、基板のボリュームを調整してください。
(右回転→感度 高、左回転→感度 低)
- 4) 調整完了後、ブレーカーをONにし、本体裏パネルを取り付けてください。



第5章 運 転 方 法

5.1 エアーブロー

- 開口部中央にパーツを入れます。
- 赤外線センサーがパーツ及び手の挿入を検知してブロワーが始動し、スリット状の幅広ノズルから清浄高速エアが噴射されます。
- パーツの色により、赤外線センサー感度が異なります。
(白色：高感度、黒色：低感度)
低感度のパーツの場合は手を開口部中央に挿入してください。



注意

- 運転中の高速エア及びブロワーの温度は上昇します。
- 本体温度が50℃を越える場合、運転間隔を長くしてください。
- 内部点検時及び長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

5.2 イオナイザー

- 除電 ON-OFF スイッチを ON にしてください。
(ON 時には橙色ランプが点灯します)
ノズル下部にあるイオナイザーバーからイオンが発生し、帯電物が除電され、除塵効率のアップ、クリーニング後のホコリの再付着を防止します。



除電 ON-OFF
スイッチ
使用后必ず OFF



注意

- 使用後は必ず ON-OFF スイッチを必ず OFF にしてください。
- イオナイザーバー近傍15mmにワークを近づけないようにしてください。
- 除電 ON 中は電撃がありますので、絶対に静電気除去装置に触れないでください。
- 装置の接地(アース)を確実にこなってください。接地が不完全な場合、装置に触れた時に電撃を受けることがありますので必ず的確に接地をおこなってください。



注意

- メンテナンスは電気及び機械保守に習熟された方が実施してください。
- メンテナンスをおこなう際は、必ず本機のブレーカーを OFF にしてから作業をおこなってください。

6.1 日常点検（始業前点検）

作業を開始する前に下記の点検を実施してください。

- 1) 運転状態を点検し、運転に異常がないかを確認してください。
- 2) エアー吹き出し口に異物など詰まりがないかチェックしてください。
- 3) プレフィルタに付着したホコリを清掃してください。
- 4) 静電気除去装置に汚れがないかチェックしてください。
- 5) 赤外線センサー表面部に汚れがないかチェックしてください。

6.2 定期点検（月に1回実施）

- 1) 電源コンセントを抜いてください。
- 2) 掃除機や布を使いプレフィルタや装置に付着したホコリを掃除してください。
- 3) イオナイザーバーの放電針先端の汚れをナイロンブラシで清掃してください。
- 4) 赤外線センサー表面部を定期的に清掃してください。

6.3 プレフィルタの清掃及び交換

- 1) プレフィルタの清掃
プレフィルタは、目視でフィルタ面が目詰まりしていないか確認し、掃除機等を使用し清掃してください。
- 2) プレフィルタの交換
掃除機で清掃しても、目詰まりが取れないようでしたら新しいフィルタに交換してください。



6.4 中性能フィルタの交換

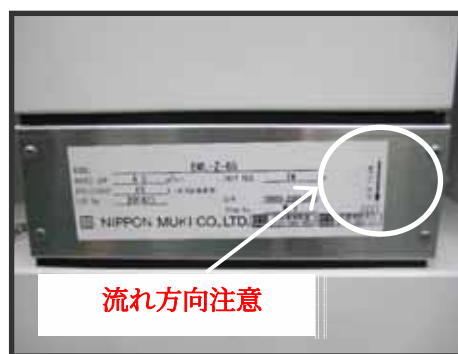
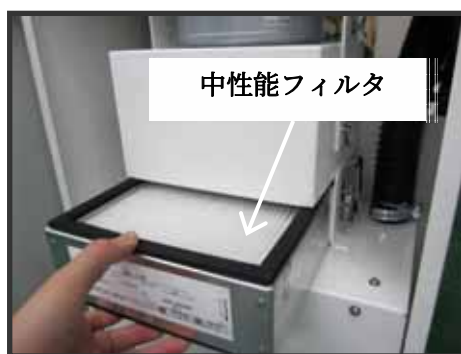
プレフィルタを交換しても、スリット状の幅広ノズルから清浄高速エアが噴射されない場合、中性能フィルタが目詰まりしています。

下記手順に従い、中性能フィルタを交換してください。

- 1) 本機下部の保守点検扉を外します。
(引掛金具とマグネットで取り付けられています。)
- 2) 下側の2個のキャッチクリップを外します。



- 3) 中性能フィルタを手前に引き抜き、交換します。
- 4) 交換する際は、エアの流れ方向に留意してください。
矢印の方向が下面になります。



注意

- 中性能フィルタの取り扱いには十分に注意してください。
- 傷、破損がある場合は、使用できません。

6.5 ブLOWERユニットの交換

ブLOWERはカーボンブラシを使用しておりますので、長時間使用しますと寿命となり動作しなくなります。

- 1) 7. 4中性能フィルタの交換に従い、中性能フィルタを取り外します。
- 2) 上側2個のキャッチクリップを外します。



- 3) ブLOWERを手前に引き、ブLOWER配線コネクタを外します。
- 4) サーマルプロテクター取付アングルをプラスドライバーにより取り外します。



- 5) 交換取付は上記逆手順で実施してください。
- 6) 交換後は試運転を実施し、正常な動作であり、異常がないことをご確認ください。

6.6 赤外線センサーの清掃

長時間使用しますとセンサー表面が汚れてくる事があります。定期的に清掃してください。



6.7 イオナイザーバーの清掃

イオナイザーバーに異物の付着がありましたら、ナイロンブラシまたはウエスで清掃してください。

放電針およびその周りの接地電極（ケーシング）は、ご使用とともに黒く汚れてきます。放電針の先端に汚れが付着したままの状態ですと除電効果が十分発揮できません。

6.8 ブロワーサーマルプロテクターについて

中性能フィルタの極度の目詰まり、プレフィルタ部の遮蔽などによりブロワー温度が異常に高くなった場合、自動的に回路を切るサーマルリードスイッチが組み込まれています。サーマルリードスイッチが動作するとブロワーが動作しなくなります。

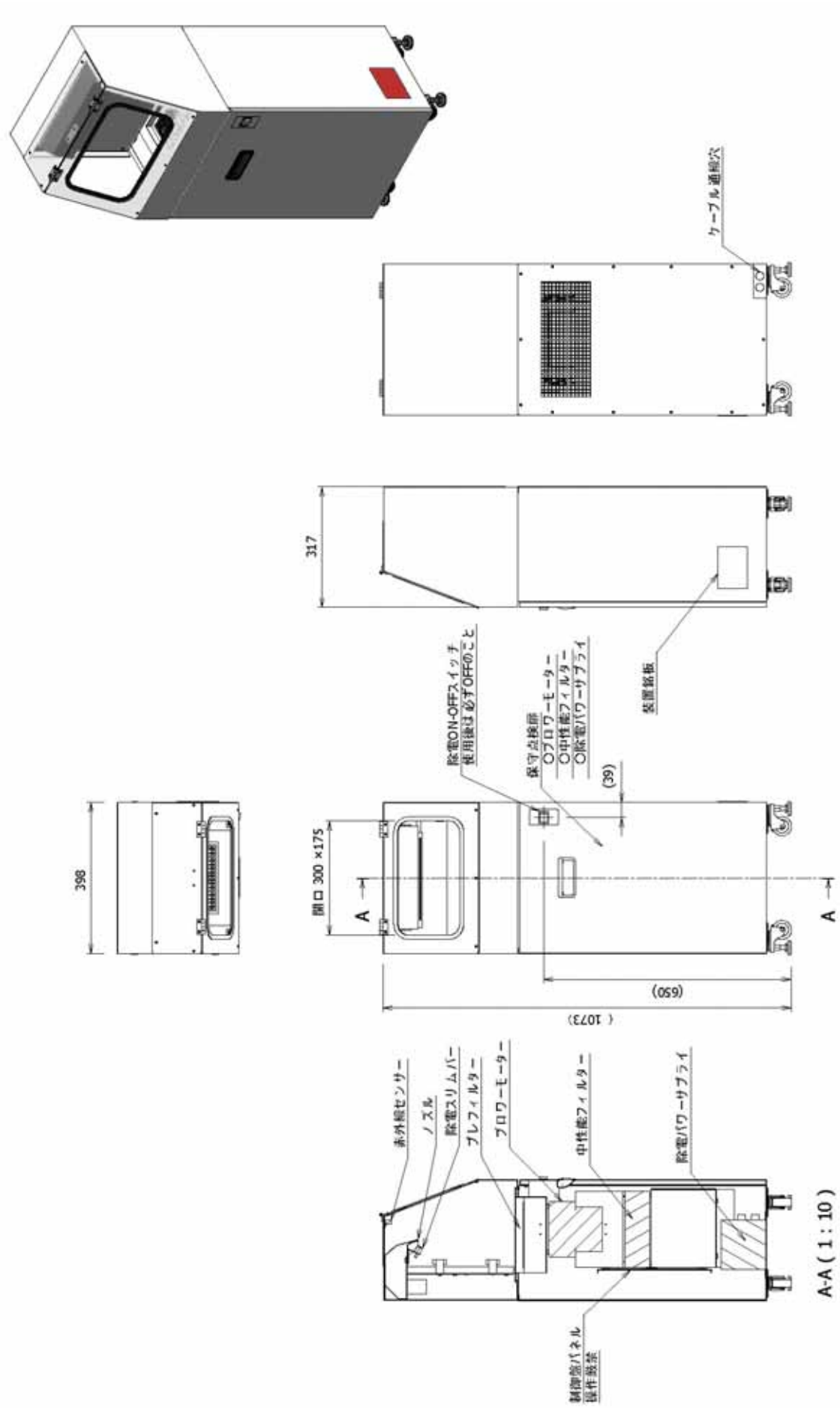
この場合、電源プラグを抜いて、長時間放置し、冷却させてください。

6.9 トラブルシューティング

異常時には必ず電源コードのプラグをコンセントから抜き原因究明をおこなってください。修理につきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

異 常 内 容	原 因	対 策
ブロワーが動かない。	電源が供給されていない。	電源を確認してください。
	本機のブレーカーがOFFになっている。	本体のブレーカーを入れてください。
	ブロワーの寿命。	ブロワーユニットの交換。
	サーマルプロテクターが動作している。	冷却されるまで待ち原因を取り除く。
ブロワーが停止しない。	赤外線センサーの表面が汚れている。	赤外線センサーの清掃。
	赤外線センサーの異常。	赤外線センサーの交換。
	無接点リレーの寿命。	無接点リレーの交換。
運転はするが風が弱い。	プレフィルタの汚れ。	プレフィルタの清掃または交換。
	中性能フィルタの目詰まり。	中性能フィルタの交換。
	ブロワーの寿命。	ブロワーユニットの交換。
コンセントをつなぐと ブロワーが運転し続ける (初期セットアップ時)	赤外線センサーの感度が高い。 (室内照明等により赤外線センサーの 感度が異なる場合があります。)	赤外線センサーの感度調整 (4.3 参照)

外 観 図



◆保証書

お買い上げいただき誠にありがとうございました。

保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従って正常な状態で使用していて故障した場合には、本書の記載内容に基づいて無償修理いたします。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。

保証期間中でも次のような場合には有償修理となります。

- 1) 誤った使用方法、取り扱い上の不注意によって生じた損傷や故障
- 2) 不当な修理や改造によって生じた損傷や故障
- 3) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変、ガス害、塩害、公害や異常電圧などによって生じた損傷や故障
- 4) お買い上げ後の移動や輸送によって生じた損傷や故障
- 5) 本書の紛失、所定事項の未記入または字句を書き換えられた場合

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は、本製品の故障に対する無償修理または交換を保証するものであって、本製品の使用または使用不能によって生じた損害に対して当社が責任を追うものではありません。

●この保証書は、明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型式	IPC-DJ40	
保証期間	お買い上げ日より1年間	弊社では製品シリアルナンバーにて出荷日の管理をおこなっております。
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	店名/住所/電話番号	

株式会社 ベツセル

●ホームページアドレス <http://www.vessel.co.jp/>

本社	☎537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	☎(06) 6976-7771 (代)	FAX (06) 6971-1309
東京支店	☎143-0025	東京都大田区南馬込5丁目43番13号	☎(03) 3776-1831 (代)	FAX (03) 3776-5607
大阪支店	☎537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	☎(06) 6976-7771 (代)	FAX (06) 6971-1309
名古屋営業所	☎457-0014	名古屋市中区栄4丁目3番1号	☎(052) 821-9575 (代)	FAX (052) 824-4167
福岡営業所	☎812-0016	福岡市博多区博多駅前6丁目1番22号	☎(092) 411-5710	FAX (092) 411-5770
札幌出張所	☎065-0011	札幌市東区北11条東14丁目1番1号	☎(011) 711-5003	FAX (011) 704-4725
仙台出張所	☎984-0002	仙台市若林区卸町東1丁目2番10号	☎(022) 236-1567	FAX (022) 232-7959
広島出張所	☎733-0035	広島市西区南観音7丁目8-11 ロイヤルナカモト	☎(082) 291-0106	FAX (082) 295-1727

12062900.00007